

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	こんどう よしあき 近藤 芳昭	所属・職名	健康福祉学部 健康栄養学科・准教授	
専門領域	健康スポーツ科学、運動生理学	学位称号	体育学士 1980 (昭55)	
最終学歴	1980 (昭55) 福岡大学体育学部体育学科卒業			
資格・免許等	中学校教諭1級普通免許 (保健体育) ・高等学校教諭2級普通免許 (保健体育) 健康運動指導士 (健康・体力づくり事業財団)			
教育上の能力に関する事項				
担当科目	フィットネス・スポーツ、ウエルネス・スポーツ、健康・スポーツ科学、運動生理学、 身体運動実習、健康運動実習、卒業研究・演習、運動生理学特論 (大学院)			
教育方法の実践例	<p>①西九州大学の特別教育計画である地域の高齢者と学生とが交流しながら学ぶ「チャレンジ幸齢セミナー」において、「健康運動実習」の授業の中で「すこやか運動」として取り組んだ。体ほぐし運動や体力測定などのプログラムを計画から実施までを学生主体でできるよう指導した。実践的な教育とともに世代間交流もできたことは、学生にとって貴重な体験学習であった。毎年健康福祉実践センター「チャレンジ幸齢セミナー」報告書を作成し、その活動を報告した。(平16年度～平19年度)</p> <p>②共通基礎科目の「健康づくりコース」授業において、万歩計を使用し毎回その結果を記録させ、授業における各人の活動量を確認させた。最後の授業で実施したアンケート調査の結果からも、万歩計を使用したことで、主観的な運動量との再確認とともに、各自が運動量を増やすような授業の積極的参加の行動変容が得られた。また指導者側からもみても、授業の内容や種目の違いによる学生の運動量の把握ができたことは今後の指導に役立つものと考えられる。</p> <p>③共通基礎科目の「健康・スポーツ科学」と専門教育科目の「運動生理学」の授業で使用できるスライドを作成した。内容は、運動時の骨格筋、呼吸循環器の働きやエネルギー代謝など運動生理学的内容とエクササイズガイドなどの健康づくりの運動について図表を中心に作成したものである。テキストと併用しながら、わかりやすい授業の取り組みとして活用できた。</p> <p>④「卒業研究・演習」で各研究成果をA4用紙2枚にまとめたものを「卒業研究要旨集」として冊子を作成し、教員及び学生に配布した。(平19年度、平20年度) また、卒業研究演習ワーキング委員としてその年度及び今後の「卒業研究・演習」の改革について取り組んだ。</p> <p>⑤健康運動実践指導者養成講座に関わる科目や内容について、新カリキュラムに沿った教育が系統的に展開でき、また健康運動の実演や指導の技術や能力が養えるよう再検討し、健康・体力づくり事業財団へ養成校認定申請をした。</p> <p>⑥本学FD委員として授業公開の実施を担当し、教育改善に取り組んだ。(平23年度) 学科内では、具体的実施の企画、運営や全体会の進行を担当した。各グループ内の意見交換や全体会の内容を後日報告書としてまとめる。</p>			
教材の開発				
教育改善活動等				
職務上の実績に関する事項				
研究業績等に関する事項				
《平成19年度～平成23年度》				
著書・学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月	

<p><著書> 1. 健康づくりトレーニングハンドブック</p>		共 著	朝倉書店	2010(平 22) 年 1 年
<p><学会発表> 1. 国体選手の日常生活とドーピングに関する調査研究</p>		共 同	第 56 回九州体育・スポーツ学会 (長崎)	2007(平 19) 年 8 月
2. 国体選手の食習慣とドーピングに関する調査		単 独	第 63 回日本体力医学会 (大分)	2008(平 20) 年 9 月
3. 国体選手を対象としたアンチ・ドーピングに関する調査研究		共 同	第 59 回九州体育・スポーツ学会 (鹿児島)	2010(平 22) 年 8 月
4. 頸髄損傷車いすテニス選手におけるメディカルサポート (第一報)		共 著	第 21 回日本障害者スポーツ学会	2011(平 23) 年 12 月
<p><その他> 1. アンチ・ドーピングガイドブック 2007 年版</p>		共 著	佐賀県体育協会スポーツ医・科学委員会 アンチ・ドーピング部会	2007(平 19) 年 9 月
2. アンチ・ドーピングガイドブック 2008 年版		共 著	佐賀県体育協会スポーツ医・科学委員会 アンチ・ドーピング部会	2008(平 20) 年 9 月
3. 佐賀県スポーツ医・科学報告書 第 3 巻		共 著	(財) 佐賀県体育協会 佐賀県スポーツ医・科学	2009(平 21) 年 3 月
4. アンチ・ドーピングガイドブック 2009 年版		共 著	佐賀県体育協会スポーツ医・科学委員会 アンチ・ドーピング部会	2009(平 21) 年 9 月
5. アンチ・ドーピングガイドブック 2010 年版		共 著	佐賀県体育協会スポーツ医・科学委員会 アンチ・ドーピング部会	2010(平 22) 年 9 月
6. アンチ・ドーピングガイドブック 2011 年版		共 著	佐賀県体育協会スポーツ医・科学委員会 アンチ・ドーピング部会	2011(平 23) 年 9 月
研究助成等	西九州大学健康福祉教育センター「健康福祉教育研究」(平 23 年度～)			
学会及び社会における活動等				
日本体力医学会、日本体育学会、九州体育・スポーツ学会、日本運動生理学会、日本健康支援学会、九州地区大学体育連合理事(2007～2009)、財団法人佐賀県体育協会スポーツ医・科学委員(副委員長、2000～2009)、財団法人佐賀県体育協会アンチ・ドーピング委員、NPO 法人日本健康運動指導士会佐賀県支部長				